

一日も。百年も。



中国電力のダム・水力発電所写真展2026

自然とともに ……水の恵み……



三滝ダム（鳥取県 八頭郡 智頭町）

2026.8.8 [土] ~ 8.24 [月] 10時~17時
(休館日※を除く毎日開催 ただし、8月14日 [金] は10~21時開催)
※毎週火・水曜日

会場

入場無料

中電ふれあいホール2階多目的ホール
(鳥取県鳥取市片原1丁目201)

主催・お問い合わせ

中国電力(株) 東部水力センター
水力総括課 (TEL0859-31-3062)



写真展の感想等、アンケート回答で新バージョンの俣野川ダムのダムカードを進呈します(数量限定)

【中国電力のダム・水力発電所写真展にあたり】

人は太古より河川をせき止め田畑に水を引いたり、水車のエネルギーを活用して生活に役立て生命を繋いできました。水は地球上の大切な資源です。水力発電は、その水の「循環する姿（降雨～川～海～蒸発～雲～降雨）」の一部を現代では電気という使いやすいエネルギー源として使わせていただいています。人々の体や植物等の大部分を構成する水は自然の大切な恵みです。私たちの生活に必要な水力発電の電気も、水の恵みの産物とも言えます。



近年、カーボンニュートラルやSDGs（持続可能な開発目標）という言葉をよく耳にします。水力発電は、水の循環により何度でも再生する持続可能な純国産エネルギーであるとともに、二酸化炭素（CO2）を殆ど出さないクリーンなエネルギーであり、再生可能エネルギーの本来本元として再認識されています。日本においては約130年前からある発電方式ですが、長きにわたり水の力で電気を生み出し人々の暮らしと共に歩んできました。今では当たり前のように使っている電気ですが、水の恵みに感謝しながら、私達は水力発電を明日へ、未来へ確実に引き継いでいきたいと思います。

今回の写真展では、東部水力センターエリア（鳥取県、島根県、岡山県と広島県の一部）にあるダム・水力発電所にスポットをあててみました。中国電力の水力発電所は、明治・大正・昭和・平成の各時代に先人達が建設・運転・保守してきました。これらの設備は、各地の自然の中で現在も現役として活躍し電気を生み、電気のある豊かな生活を支えています。撮影は、鳥取県南部町在住の世界的写真家で近年国内外のコンテストで数多くの賞を受賞されている廣池昌弘氏によるものです。ダムや水力発電所が自然の風景の一部として、美しい四季の中で佇む様子をどうぞご覧ください。

ひろいけ まさひろ
撮影：廣池 昌弘 氏



【プロフィール】

- 鳥取県在住、米子東高校、広島大学工学部卒。システムエンジニア・写真家
- 2020年 世界最大規模のSony World Photography Awardsで受賞し写真家へ
- 2025年 画家、彫刻家等、オールジャンルの現代アートの国際プロジェクト「ATELIER QUINDICI (15)」に唯一のデジタルカメラの写真家として選出される

【主な受賞歴】

- 2025年 Smithsonian Magazine Photo Contest “Natural World” Finalist
- 2023年 LensCulture Critics’ Choice winner (Selected by Christie’s Darius Himes)
- 2020年 Sony World Photography Awards Professional “Wildlife” 2nd place
- 2015年 オリンパス・オープンフォトコンテスト グランプリ 他多数



夏の新川平取水ダム（鳥取県）



紅葉と来島ダム（島根県）



雪纏う土用ダム（岡山県）



北斗七星と竹市発電所
（鳥取県）



秋空と浜原ダム（島根県）



放流中の大宮ダム（鳥取県）



（会場）中電ふれあいホール

【電車】

鳥取駅下車 徒歩約18分（1.2km）

【バス】

鳥取駅前から100円循環バス「くる梨」に乗車「本町一丁目」下車、徒歩約1分

【車】

鳥取駅から約7分（駐車場：8台）

<https://www.energia.co.jp/area/tottori/entry/262.html>
〒680-0023 鳥取県鳥取市片原1丁目201
TEL0857-22-0354